

住友ゴム工業(株)加古川工場

環境保全対策実施報告書

平成24年度(平成24年4月～平成25年3月)に実施しました環境保全対策、及び平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)の環境保全活動計画は、次の通りです。

1. 環境保全対策実施状況(平成24年度)

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
① ガスボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア: ボイラーの定期整備 イ: 排ガスの定期測定 ウ: オンライン24時間監視システム エ: メンテナンス契約(メーカー点検・整備等)	①ボイラーメーカーとの24時間監視システムによる運転管理と定期的なメーカー定期整備によりボイラーの適正な運転が出来ました。
② 省エネ改善活動の推進 ア: 省エネ委員会の活動 イ: 蒸気, エア, 熱の漏れ箇所調査、修理	②原単位は対前年比95.3%で4.7%エネルギー使用率が向上しました。 *原単位: 単位生産量当りのエネルギー使用量

(2) 騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
① 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続	工場敷地境界における騒音は、規制値内にあります。 *騒音測定地点は、添付資料をご参照下さい。

(3) 悪臭防止対策

推進の内容	実施の成果
① 定期測定時にパトロールを実施し、日常管理の強化。 又、発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む	工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。

(4) 緑化対策

推進の内容	実施の成果
① 工場敷地内の緑地の維持管理	① 緑化環境の維持・向上が図れました。 フジバカマの育成、チガヤの植付、どんぐり育成 *添付資料をご参照下さい
② どんぐりプロジェクトの推進	② 外部移植 平成24年度： 125本 どんぐり銀行 募集： 8000ヶ

(5) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・6/8～4 「トライやるウィーク」で、陵南中学校から4名受入れ、生産工場の業務について、理解を深めて頂きました。 ・6/12 野口北小学校5年生105人にゴムについての座学と工場見学、スーパーボール作製の体験を実施、ゴムへの知識を深めて頂きました。 ・8/10 加古川工場40周年祭を近隣の方をご招待しました。 ・11/12～16 インターシップ高校生2名受入

(6) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001の維持	・9/25・26 ISO14001を定期維持、今後も継続的に、環境改善に取り組んで参ります。
② 内部監査	内部監査員スキルアップ研修実施

2. 協定値と実績値の比較

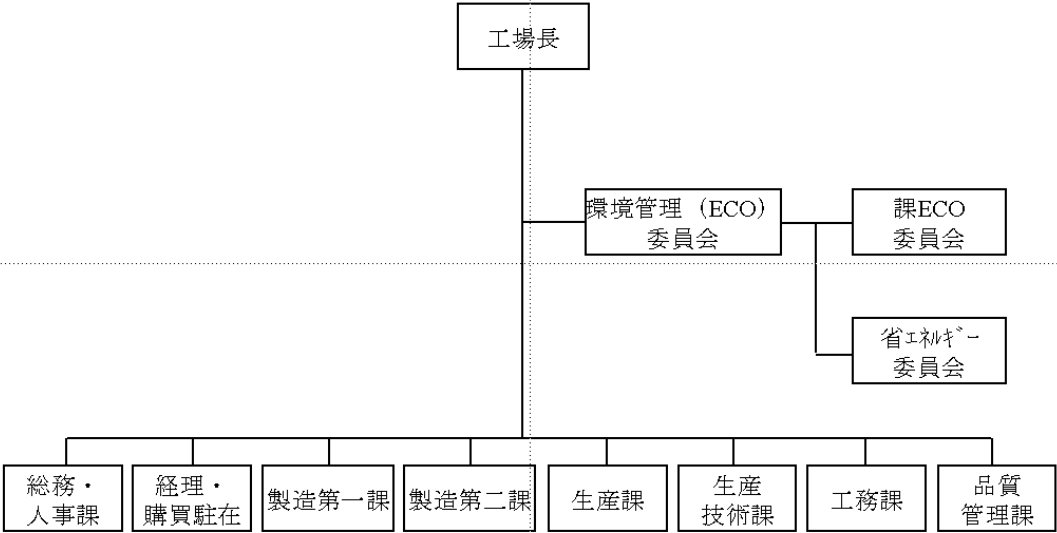
(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

硫黄酸化物排出量 (N m ³ /H)		—	—
窒素酸化物排出量	(N m ³ /H)	0.7	0.34
	(t/年)	8.6	3.15

3. 環境保全活動

(1) 平成25年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>「環境に優しい企業活動で、地球の未来を守ります」</p> <p>近年、環境問題は従来の地域社会的な問題から、地球規模という空間的な広がり、将来の世代にもわたる時間的な広がりを持つ問題となってきました。地球環境の保全は国際社会が共同で取り組むべき人類の課題であり、持続可能で環境負荷の少ない経済社会を構築していくことが重要であるとの認識のもとに住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部加古川工場は、社会に信頼される企業の基本的な責務として、全ての事業活動と企業市民としての生活を通して、総合的、創造的に地球環境の保全に取り組みます</p> <p>～住友ゴム工業(株)加古川工場環境方針抜粋～</p>
組織体制	 <pre> graph TD FM[工場長] --- ECOM[環境管理 (ECO) 委員会] ECOM --- DECO[課ECO 委員会] ECOM --- ESE[省エネルギー委員会] FM --- G1[総務・人事課] FM --- G2[経理・購買駐在] FM --- G3[製造第一課] FM --- G4[製造第二課] FM --- G5[生産課] FM --- G6[生産技術課] FM --- G7[工務課] FM --- G8[品質管理課] </pre>

(2) 平成25年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成の為の計画、方策
化学物質対策	化学物質の維持管理による 使用量削減	①化学物質の維持管理強化による 使用量削減。 ②取外した PCB 機器の適正保管を行 い、化学物質の漏洩防止に努めま す。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	・法令及び協定の順守 ・エネルギー原単位を 対前年3%削減	① 各工程の生産性を向上させるこ とにより、電力・蒸気原単位の改 善を実施します。 ② 保温の強化拡充、及びバルブ・トラ ップ・配管等の漏れ点検を強化し、 迅速に修理を行います。 ③ プレス成形機用作動油を摩擦特 性の優れた省エネ型に変更して、 油圧ポンプの電力消費を30%削減 します。 ④ 老朽化した空調機を高効率空調 機に更新を行い、効率を20~30% 上げ消費電力を削減します。
廃棄物対策	・法令の順守 ・廃棄物発生率を 対前年5%削減	① 製品の仕損を削減して廃棄物発 生量の削減に努め、引続きゼロエミ ッションを継続します。
騒音防止対策	・法令及び協定の順守	① 騒音発生源対策及び保安員によ る工場周辺パトロールを継続します。
緑化対策	・緑地の維持管理	① どんぐりプロジェクトの推進 ② 加古川原生植物の育成拡大 「フジバカマ」「チガヤ」 第3工場の緑化推進
悪臭対策	・法令及び協定の順守	①定期測定時にパトロールを実施し、日常 管理の強化に努めます。又、発生源 対策として、溶剤系材料の使用量削 減と水系化の取組み転換を進めま す。
土壌汚染対策	・法令及び協定の順守	①浄化処理を継続します。又、定期測 定結果を市環境政策課殿へ報告継 続します。
環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステムの運用と 推進	①ISO 14001 環境マネジメントシステムの運用 により、環境面での継続的改善を図 って行きます。
地域社会への参画	・地域社会との相互理解強化 と環境保全活動への参画	① 事業所周辺の清掃活動 ② 例年通り「トライやるウィーク」による 中学校生の受入れ実施 ③ 近隣小学生にゴムについての座学 と実験体験を計画

添付資料

緑化活動

フジバカマ (秋の七草)
10月開花



- ・芝生広場は、
 - ①歩道橋傍に「フジバカマ」用花壇を新設
 - ②道路側フェンス沿いをどんぐり苗置場にする。
(本社植え付け分を引き受け)



加古川在来チガヤ (イネ科の多年生草本)

添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

